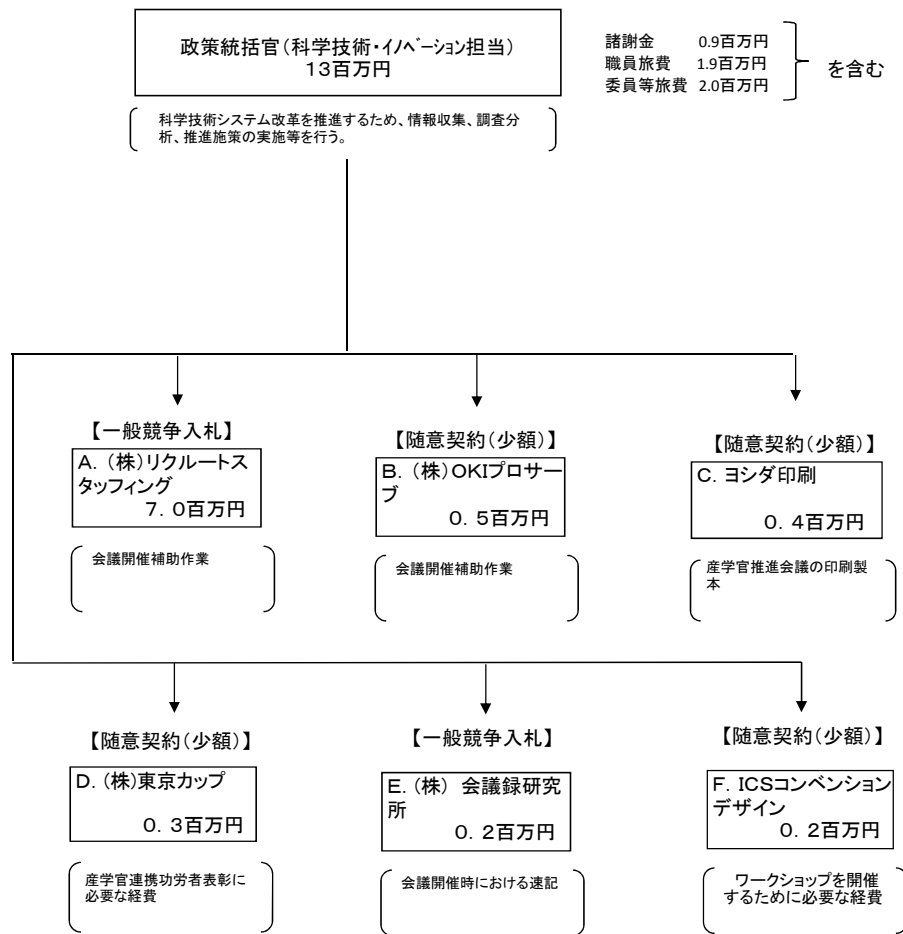


平成26年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学技術システム改革の推進		担当部局	政策統括官 (科学技術・イノベーション担当)	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度・終了(予定)なし		担当課室	参事官(調査・分析担当) 企画官(評価担当)	安間敏雄 井上慶司			
会計区分	一般会計		政策・施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	科学技術基本法(平7法130)、 内閣府設置法(平11法89)第26条		関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第4期科学技術基本計画に基づく科学・技術システム改革を推進するため、産学官連携の強化、国家的に重要な研究開発の評価、競争的資金制度の改革等を進める。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携を推進するために、産学官実務者が具体的な課題を解決するための場として「産学官連携推進会議」等を開催する。</li> <li>国家的に重要な研究開発の評価等を行うために、その分野の専門家を招へいし必要な調査等を実施する。</li> <li>競争的資金の効果的・効率的活用を推進するために、関係機関に対して必要な調査を行う。</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
		当初予算	55	29	17	15	14	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—	
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—	
		予備費等	—	—	—	—	—	
	計	55	29	17	15	14		
	執行額	38	24	13	—	—		
執行率(%)	69%	85%	78%	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)	
	本件は、産学官連携の推進、大規模な研究開発の評価、競争的資金制度の改善等、日本全体のイノベーションシステムを社会とともに創り、進めるために必要な情報収集・交換、評価、検討等を行うものであり、その時々で必要な政策課題が対象となる。このため、事前に一定の数値により成果目標(アウトカム)指標を設定することができないが、定性的な成果指標としては、科学技術システム改革に係る政策の推進に資する政策的な方向性を総合科学技術・イノベーション会議の主な計画等に反映することを目的としている。		成果実績	—	・答申「科学技術に関する基本政策について」に関する意見具申	・基礎研究及び人材育成部会の間とりまとめ	・「科学技術イノベーション総合戦略」(平成25年6月7日閣議決定)の策定	
			目標値	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込	
	産学官連携の推進、大規模な研究開発の評価、競争的資金制度の改善等、日本全体のイノベーションシステムの円滑化を社会とともに創り進めることを目的として、必要な情報収集・交換、評価、検討等を行うものであり、その時々で必要な政策課題が対象となる。このため、一定の活動(アウトプット)指標を設定することができないが、参考指標として、産学官連携の推進に係る主な会議等の件数を記載する。		活動実績	件	・産学官連携に係る会議等 5	・産学官連携に係る会議等 5	・産学官連携に係る会議等 5	—
			当初見込み	件	・産学官連携に係る会議等 5	・産学官連携に係る会議等 5	・産学官連携に係る会議等 5	・産学官連携に係る会議等 4
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込	
	システム改革に必要な会議等の経費/開催件数		単位当たりコスト	円/件	4百万円/件	2百万円/件	1百万円/件	3百万円/件
			計算式	経費/件	20百万円/5件	10百万円/5件	5百万円/5件	13百万円/4件
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	2					
	職員旅費	2	2					
	委員等旅費	3	3					
	庁費	9	7					
	計	15	14					

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・産学官連携に係る具体的課題についての研究討議、情報交換、対話・交流等の取組を通じて、科学技術システム改革を推進し、科学技術によるイノベーションを促進する重要な事業である。 ・産学官をとりまとめる事業内容のため、見込まれる事業主体は国のみである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・契約について入札等により競争性を確保し、コスト削減に努めている。 ・出張時の割引航空運賃の活用や事務費の削減等により、経費の節減に努めている。 ・会議開催については、事前の情報収集、準備等を綿密に行い、限られた予算の中で効率的な議事進行、専門家からの意見聴取等を図るなど、より効率的かつ有益な内容としており、経費の効率化とともに、コスト水準の適正化を図るよう努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・直接実施により、機動的により高い成果を挙げることに務めており、その成果は総合科学技術・イノベーション会議の調査審議等において活用されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	_____	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点検・ 改善結果	点検結果	・会議開催については、事前の情報収集、準備等を綿密に行い、限られた予算の中で効率的な議事進行、専門家からの意見聴取等を図るなど、より効率的かつ有益な内容としている。 ・また、契約等は競争入札等によるコスト削減、出張時の割引航空運賃の活用や事務費の削減等により、経費の節減に努めている。			
	改善の 方向性	・引き続き会議開催については、限られた予算の中で効率的な議事進行、専門家からの意見聴取等を図るなど、より効率的かつ有益な内容とするともに、経費の節減に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状 通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状 通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業予算の執行管理を徹底し、効率的、効果的な事業の実施に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの実業番号					
平成23年	0049	平成24年	0057	平成25年	0134

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



注)端数処理のため合計額とは一致しない。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて  
補足する)  
(単位:百万円)

A.リクルートスタッフィング			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他の経費	事務補助作業	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックごと  
 に最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リクルートスタッフィング	事務補助作業	7.0	2	毎年、同様の仕様のため未記入

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)OKIプロサーブ	会議開催の補助作業	0.5	随意契約【少額】	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヨシダ印刷(株)	産学官推進会議の印刷製本	0.4	随意契約【少額】	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京カップ	産学官連携功労者表彰に必要な経費	0.3	随意契約【少額】	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) 会議録研究所	会議開催時における速記	0.2	4	毎年、同様の仕様のため未記入

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ICSコンベンションデザイン	ワークショップを開催するために必要な経費	0.2	随意契約【少額】	—